

沼津高架 P I プロジェクト



原地区(一本松 中道)から見た富士山

勉強会〈原地区〉第1回

平成25年2月9日



1. 鉄道高架事業
2. PIプロジェクト
3. 勉強会



1. 鉄道高架事業
2. PIプロジェクト
3. 勉強会



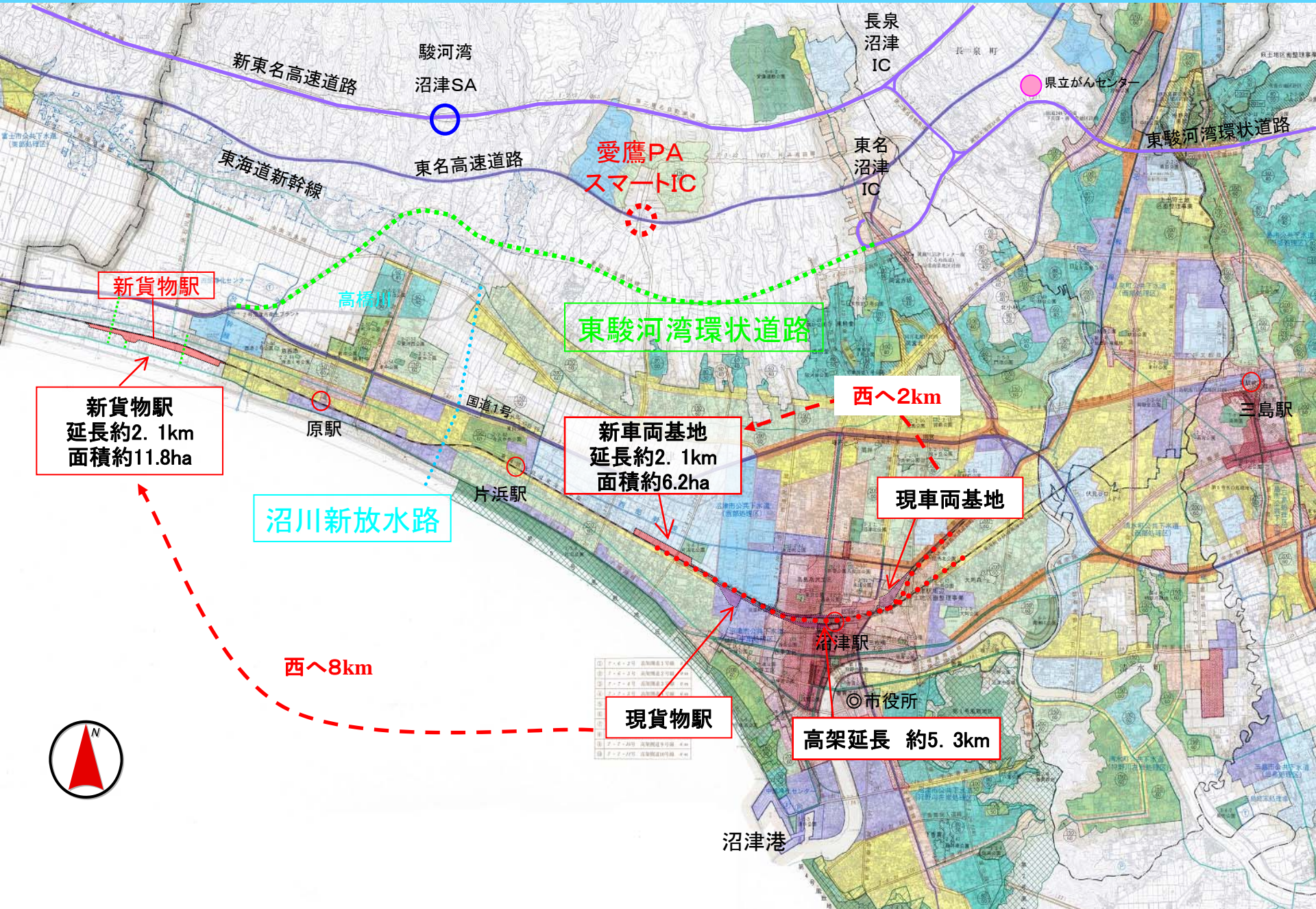
鉄道高架事業／事業概要



事業概要

- ・事業費 : 787億円
- ・事業期間 : 平成15年度～平成34年度
- ・高架化区間: JR東海道線 約3.7km (大岡団地付近～片浜付近)
JR御殿場線 約1.6km (大岡団地付近～沼津駅)
- ・移転する鉄道施設: 車両基地 約6.2ha(片浜地区)、貨物駅 約11.8ha(原西部地区)
- ・除去される踏切数: 13箇所 (JR東海道本線12箇所、JR御殿場線1箇所)
- ・立体交差化される幹線道路数: 8路線 (国道1路線、県道1路線、市道6路線)

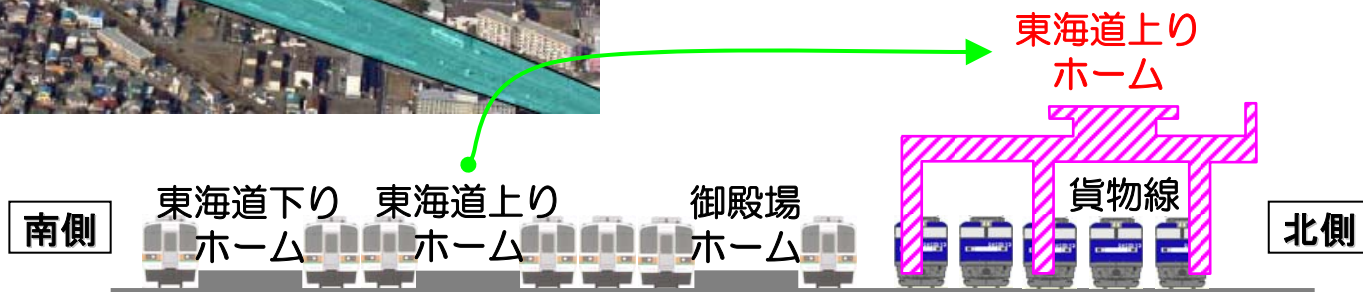
鉄道高架事業／位置図



鉄道高架事業／貨物駅移転の必要性



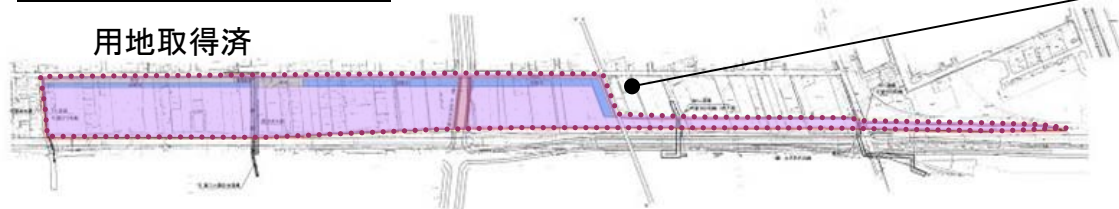
- 現貨物駅は、東海道本線を南北から挟み込んだ形状
- 高架本体工事は、この現貨物駅を活用し、北側から順次施工する計画



沼津駅周辺総合整備事業／進捗状況

新車両基地(片浜地区)

用地取得済



静岡東部拠点第二地区

事業中

東部コンベンションセンター

事業中

H25夏 市展示イベント施設完成

H26夏 県会議施設完成

静岡東部拠点第一地区

H24工事完了

沼津駅南第一地区土地区画整理事業 (3)

Bivi沼津
平成18年開業

沼津駅南第二地区

未着手

沼津駅南第一地区

事業中

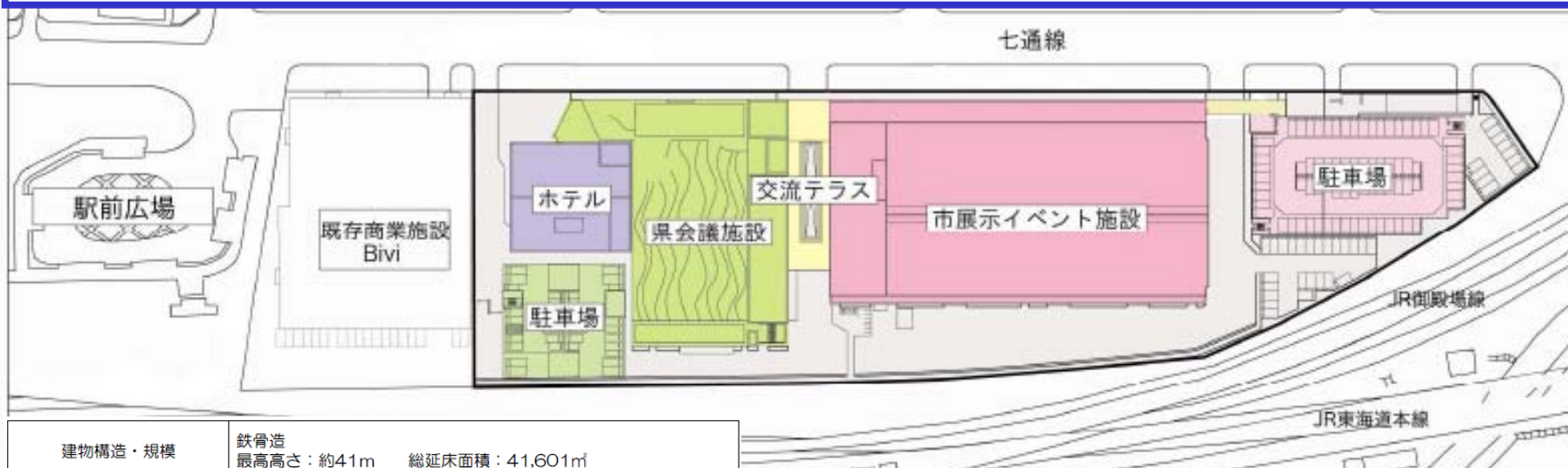
市街地再開発事業

再開発ビル「イーラde」

H20年開業

沼津駅周辺総合整備事業／東部コンベンションセンター

■多様で先進的な人・もの・情報が交流し、新たな都市拠点形成する
平成25年度にイベント施設など、平成26年度に会議施設などが完成予定。



建物構造・規模	鉄骨造 最高高さ：約41m 総延床面積：41,601㎡	
施設の種類	延床面積	機能等
県 会議場施設	15,361㎡	メイン会議室（最大収容人数 約1,300人） 大会議室（最大収容人数 約400人） 中小会議室計12室（最大分割時17室） インフォメーションコーナー 県特産飲食物販売コーナー 駐車場 等
沼津市	展示イベント施設	展示面積 約3,900㎡ 市民ギャラリー 約620㎡ 等
	駐車場	480台
民間 ホテル	7,491㎡	11階建 客室総数150室 レストラン、バー 等



鉄道高架事業／進捗状況

- 高架本体用地の買収は順次進めている。
- 土地区画整理事業の区域内の高架本体用地は、区画整理事業の進捗に合わせて確保。

買収済み用地



本体／通路線



本体／側道



本体(区画整理内)

鉄道高架事業／進捗状況

新車両基地用地の買収率は、ほぼ100%。



鉄道高架事業／新貨物駅移転予定地



抱込み方式
(東海道線の中に貨物駅)

鉄道高架事業／新貨物駅移転予定地の現状



1. 鉄道高架事業
2. PIプロジェクト
3. 勉強会



事業経緯 (PIに至る近年の状況)

平成22年 9月	【県】 沼津駅付近鉄道高架事業に関する有識者会議の設置
平成23年 1月 平成23年 2月	【ふれっしゅ沼津／原貨物駅に土地を売らない地権者の会】 有識者会議の委員へ公開質問状を送付 【県】 有識者会議の委員に「公開質問状に対する回答は不要」と連絡
平成23年 6月	【県】 有識者会議報告書公表 ・鉄道高架事業は効果的で妥当 ・PI方式にて合意形成し議論していくことが必要 【県】 推進方針公表 (PIによる合意形成) ・高架事業は、着実に推進していく ・合意形成にあたり、市民参加型計画策定手法であるPI方式を導入し、専門家の協力を得て、手続きを含めて議論していく。
平成23年 9月	【原貨物駅に土地を売らない地権者の会／郷土を愛する会】 ふじのくに健康文化タウン基本構想を発表
平成23年11月	【原貨物駅に土地を売らない地権者の会／郷土を愛する会】 ふじのくに健康文化タウンに関するアンケート結果を公表 【県】 沼津駅付近鉄道高架事業に関するPI委員会設置
平成24年 4月	【県】 PIの実施

PI 実施計画／PIとは？

○ パブリック = 市民、企業、関係団体等

○ インボルブメント = 関与、参画



市民参画

【背景】

- 市民ニーズの多様化
 - 行政に対する不信感
 - 事業の不透明感
 - 行政の説明責任
- 計画の透明性、公平性の確保
- 幅広いニーズの把握

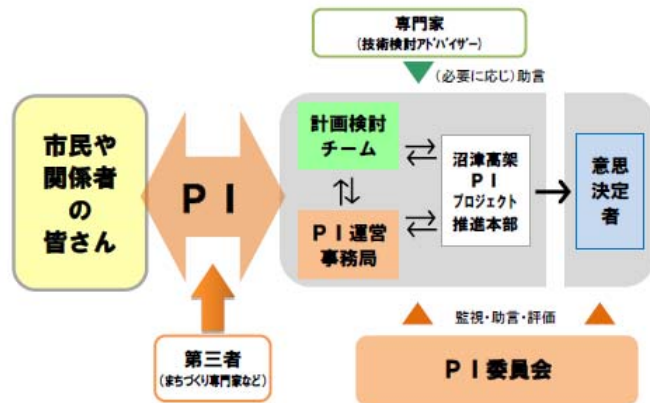
PI 実施計画 / PI プロジェクト

●透明で公正な体制で進めます ～実施体制～

沼津高架PIプロジェクトは透明で公正に進めることが必要です。

そのために次のような体制で進めています。

- PI運営事務局は、市民や関係者の皆さんとコミュニケーションを図る役割を専任的に担います。
- まちづくり専門家などの第三者は、コミュニケーションの場での議論の仲介役を担うとともに、中立的な視点でも情報発信します。
- 計画検討チームは、技術的な計画検討を行います。必要に応じ、専門家から助言を受けながら進めます。
- 沼津高架PIプロジェクト推進本部は、多様な利害や関心を踏まえながらステップごとの結論を出します。また、意思決定にあたり、計画の推奨案を選定します。
- 沼津駅付近鉄道高架事業の方向付けは、PIプロジェクトでの検討結果を判断材料にして、意思決定者が行います。



◇PI委員会の役割

PI委員会は、以下の視点から沼津高架PIプロジェクトが透明で公正に進められているかを監視し、助言・評価するものであり、計画内容の評価や事業の方向付けをするものではありません。

【PI委員会による監視、助言、評価の視点】

- ✓ 多様な利害や関心を調整して互恵的な解決を模索しているか
- ✓ どのステップの検討をしているか明確にしながら進めているか
- ✓ 議論が混乱しないよう、各ステップの趣旨に応じた検討を行っているか
- ✓ 多様な利害や関心を踏まえ、目的や代替案、評価項目を設定しているか
- ✓ 市民や関係者との多層多層的コミュニケーションを行っているか
- ✓ 積極的かつ適切に情報を提供しているか、十分に意見を聴き論点を把握しているか
- ✓ PI委員会の助言を踏まえて、適切にPIを実施しているか

沼津高架PIプロジェクトにご意見をお寄せください！

静岡県では、沼津高架PIプロジェクトを実施しています。2～3ページの方法で市民の皆さんとコミュニケーションを図っていくほか、E-mail や FAX でも常時ご意見を受け付けています。ぜひご意見をお寄せください！

※寄せられたご意見は、差出人の名前や住所を除き、原則として原文どおりホームページなどで公開します。非公開を希望される場合は、その旨を記載してください。

※意見に対する個別の回答はいたしません。一定期間毎に意見を集約して、ホームページなどで回答します。

ホームページアドレス: <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-830/kouka/> 沼津高架PI
E-mail: numazu-pi@pref.shizuoka.lg.jp FAX:055(926) 5527

静岡県交通基盤部都市局街路整備課 ・ 沼津土木事務所都市計画課

沼津高架PIプロジェクト・PI実施計画

平成24年4月 静岡県

静岡県では沼津駅付近鉄道高架事業について徹底した合意形成を図るため、パブリックインボルブメント(PI)を実施することとしました。パブリックインボルブメント(PI)は、市民や関係者の皆さんとコミュニケーションを図りながら計画の検討を進める取組です。このPI実施計画は今後実施するPIの進め方、実施体制などを定めたものです。

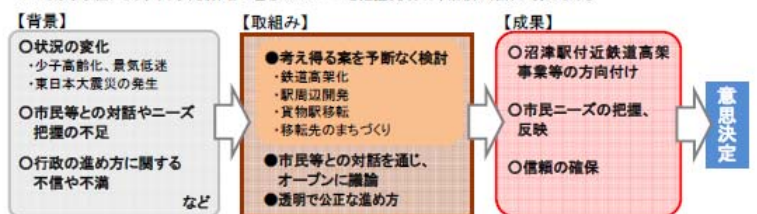
●最大限のコミュニケーションを図っていきます ～沼津高架PIプロジェクトとは～

沼津駅付近鉄道高架事業は、事業者手から約10年が経過しました。これまでの県の取組みを振り返ると、市民の皆さんとの対話やニーズの把握が十分でなく、結果的に行政の進め方に対する不信や不満を抱かせてしまい、率直に反省しております。

そこで、静岡県では、平成23年6月の沼津駅付近鉄道高架事業に関する有識者会議の報告書を受けた県の推進方針に基づき、改めて沼津駅付近鉄道高架事業等の方向付けをするため、沼津高架PIプロジェクトを立ち上げました。

沼津高架PIプロジェクトでは、鉄道高架化や駅周辺開発、貨物駅の移転など様々な論点について考え得る案を予断なく検討し、市民や関係者の皆さんと徹底したコミュニケーションを図りながら意見を聴き、オープンに議論します。これらは、第三者の有識者で構成するPI委員会が監視し、助言・評価することで、透明性、公正性を確保します。

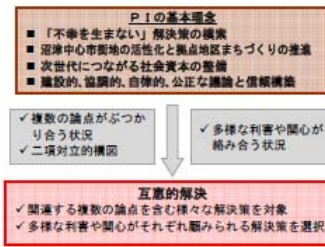
このような取組により、市民や関係者の皆さんのニーズを把握、反映し、信頼の確保に努めます。



●互恵的解決を目指します ～沼津高架PIプロジェクトのビジョン～

沼津高架PIプロジェクトでは、正当な理由なく個人が犠牲になるような不条理や多くの市民が不利益を被る状況を選避する（不幸を生まない）ことで地域や個人にとっても、公共の利益にとっても相互に価値のある解決策を模索します。

そこで、以下の4点をPIの基本理念として、現在のような複数の論点があつたり合つたり絡み合つたりしている二項対立状況を脱却し、互恵的解決を目指します。



●予断なく、透明で公正に進めます ～沼津高架PIプロジェクトの進め方～

- ①議論が混乱しないよう、段階的にステップを踏み、一つ一つ確認しながら進めるプロセスとします。
- ②各ステップで何を達成するのか、どんな方法でコミュニケーションするのかなど、検討の進め方をPI実施計画で明確にし、市民等と共有することで公正に進めます。
- ③まずは目指すべき目標を設定し、その後、計画内容を検討します。
- ④計画内容は、様々な角度から複数の案を見比べ、どの計画が総合的に良いかを検討します。
- ⑤各ステップでPIを実施し、直接的・間接的に多層多層的の対話を行い、相互の理解を図ります。

◇沼津高架PIプロジェクトは、PI委員会が監視し、助言、評価します。PIプロジェクトで検討した結果を判断材料にして、意思決定がなされます。



PI 実施計画／プロジェクトのプロセス



	H23年度	H24年度				
検討のステップ	Step 1 PI実施計画の策定	Step 2 目標の設定	Step 3 代替素案(論点ごと)と評価項目の設定	Step 4 代替案(パッケージ)と評価項目の設定	Step 5 代替案の比較評価	Step 6 推奨案の選定
	✓沼津高架PIプロジェクトの進め方を定めたPI実施計画を策定。	✓鉄道高架や貨物駅移転、さらには沼津全体や移転先地区の現在の問題や将来像を検討し、プロジェクトの目標を定める。	✓目指すべき目標を達成するための複数の代替案を予断なく検討し、比較評価の視点を設定。 ✓まずは論点となるテーマごとに代替素案を検討し、次にそれらを組み合わせ、相互に関連づけた代替案を検討。	✓代替案を比較評価。	✓意思決定にあたり推奨する案を選定するとともにその根拠を整理。	

Step2

目標の設定

テーマ① 広域レベル

- 鉄道高架事業が沼津市や県東部地域にどのような効果をもたらし、また財政面などからどのような影響を及ぼすのかを議論することを通じて、鉄道高架事業を含む一連の計画の意義を検証

テーマ② 地区レベル (沼津駅周辺)

- 沼津駅周辺に関してこれまで検討された計画等を確認
- 鉄道高架事業を含む一連の計画が駅周辺にどのような影響を及ぼし、どのような意義があるのか、懸念や期待を整理

テーマ③ 地区レベル (原地区)

- 現計画で貨物駅の移転先となっている原地区の良いところ(地域資源)や改善すべきところ(課題)を確認
- 原地区に関してこれまで検討された計画等を確認し、懸念や期待を整理

PI / コミュニケーションの方法

広く

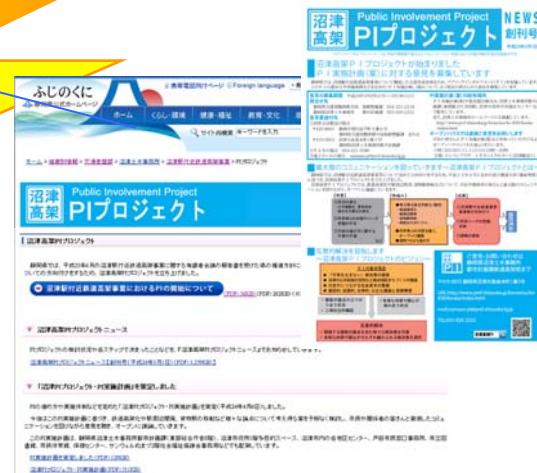
ホームページ、広報紙など

オープンハウス

深く

車座談議

勉強会



マックスバリュ原店でのオープンハウス (H24年11月)



駅周辺地区の勉強会(H25年1月)



車座談議 (H24年12月)

◆オープンハウス

市民の皆さんの集まる場所で計画に関する情報や進捗状況などをパネル展示で情報提供し、PI運営事務局が意見を伺う。市民の皆さんが情報を提供する機会も設ける。

これまで、大型店舗などで、19日間(139時間)実施した。



マックスバリュ沼津南店での様子(H24.6)



イシバシプラザでの様子(H24.3)

◆ 車座談議

PI運営事務局が自治会や団体などへ伺い、鉄道高架事業を含む一連の計画、市全体や駅周辺の計画などについて情報を提供し、意見交換することで、情報の共有を図る。

開催要望にも応じる。

これまで、様々な団体を対象に、30回開催し、約260人の方に参加いただいた。



これまで行った車座談議の様子

◆勉強会

これまでの計画やまちづくりの考え方を共有しながら鉄道高架化計画の意義や地区の資源、課題、代替案や評価項目に関して議論する。

仲介者の第三者を交え、同じメンバーで継続的に進める。

テーマ②とテーマ③に設置し、テーマ①の議論も交えながら進める。



テーマ②沼津駅周辺地区の勉強会のようす

「目標」を明確にするために、地域の将来像を検討する

ステップ2で皆さんにお聴きしたいこと

沼津高架について考えるために、まずどのような地域を目指すのか、地域の将来像を考えてみてください。

沼津駅周辺について

Q1. 今の沼津駅周辺の地域について心配なことは？

沼津駅周辺の課題として、「商店街の活性化」、「まちなかの魅力不足」、「地震や津波などの災害が心配」といった意見がありました。

あなたは、今の沼津駅周辺の地域について、どのようなことが心配ですか？

Q2. 沼津駅周辺の地域づくりで取り組むべきことは？

新東名高速道路の整備によって首都圏からのアクセスがよくなったことから、「今後の地域づくりの可能性として、沼津の持っている観光資源を生かすべき」といった意見がありました。

あなたは、周辺環境の変化を踏まえて、今後、「沼津駅周辺の地域づくり」について、どのようなことに取り組むのがよいと思いますか？



Q3. 将来、避けるべき状況は？

あなたは、今後の「沼津駅周辺の地域づくり」の取り組みに際し、避けるべき状況とは、どのようなことだと思いますか？

Q4. 沼津駅周辺に必要な機能・施設は？

沼津駅周辺は、「観光や医療などをテーマとした都市拠点として整備すべきである」、「徒歩や自転車で行き来しやすく、魅力的な商業地や公園・水辺などの憩いの場があるとよい」といった意見がありました。

あなたは、都市拠点として沼津駅周辺を考えたとき、どのような機能や施設があるとよいと思いますか？

原地区について

Q1. 今の原地区の地域について心配なことは？

原地区は、「水害や地震・津波の被害が懸念される」、「農業の後継者不足や、産業・雇用が少くない」といった意見がありました。

あなたは、今の原地区の地域について、どのようなことが心配ですか？

Q2. 原地区の地域づくりで取り組むべきことは？

原地区では、新東名高速道路の開通に続き、骨格的な道路整備（東駿河湾環状道路の西部区間延伸、スマートインター設置など）が検討されており、「周辺状況が大きく変化するのではないかと」、「原地区でも活性化のためにこれらを活用してはどうか」といった意見がありました。

あなたは、周辺環境の変化を踏まえて、今後、「原地区の地域づくり」について、どのようなことに取り組むのがよいと思いますか？

Q3. 将来、避けるべき状況は？

あなたは、今後の「原地区の地域づくり」の取り組みに際し、避けるべき状況とは、どのようなことだと思いますか？



Q4. 原地区の守りたい地域資源は？

「原に残る歴史的な資源や、昔からの風景を一度壊してしまったら取り返せないし、現状では活かされていない」といった意見がありました。

あなたは、原地区において、残すべき資源、守りたい資源として、どのようなものがあると思いますか？

Q5. 原地区をどのような地域にしたい？

これまで、原地区では、「地域づくりの総合的なビジョンを話し合う機会が十分でなかった」といった意見がありましたが、原地区の歴史、風景、文化を活用した地域づくりを望む意見は、多くの人に共通しています。

今後の地域の将来像として、「交通の要衝としてのメリットを生かし、医療や健康などの新たな産業のあるまちにしたい」、「現在ある農地や自然を保全していきたい」といった意見がありました。あなたは、原地区をどのような地域にしたいと思いますか？

PIプロジェクトニュース 第4号

これまで頂いた意見を項目にまとめました。
市民の皆様幅広く知って頂きたいので、本日、市内に新聞折込。
多くの意見が出ています。詳しくは「意見まとめ中間報告冊子」に記載。
意見はまだまだ、募集中。

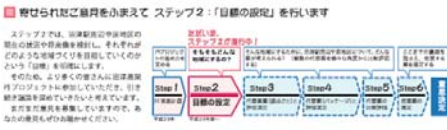
沼津高架 Public Involvement Project NEWS 第4号

平成24年11月28日

沼津高架PIプロジェクトは、オープンハウスや意見募集など様々な機会を通じて、市民の皆様からご意見を頂戴しております。ご意見をまとめた「意見まとめ中間報告冊子」を、市内に新聞折込しております。ご意見をまとめた「意見まとめ中間報告冊子」を、市内に新聞折込しております。

「新設の「関心事項」に注目して、意見を整理しています」
「意見募集」のアンケートでは、市民の皆様から、新設の「関心事項」に関するご意見を多く頂戴しております。ご意見をまとめた「意見まとめ中間報告冊子」を、市内に新聞折込しております。

「整理されたご意見をステップ2「目標の設定」を行います」
ステップ2は、整理されたご意見をステップ2「目標の設定」を行います。ご意見をまとめた「意見まとめ中間報告冊子」を、市内に新聞折込しております。



「整理されたご意見...」
ご意見をまとめた「意見まとめ中間報告冊子」を、市内に新聞折込しております。

テーマの広域レベルについてのご意見

- 1. 地域づくり**
 - (1) 地域づくり: 地域づくりの推進、地域づくりの推進、地域づくりの推進。
 - (2) 地域づくり: 地域づくりの推進、地域づくりの推進、地域づくりの推進。
 - (3) 地域づくり: 地域づくりの推進、地域づくりの推進、地域づくりの推進。
 - (4) 地域づくり: 地域づくりの推進、地域づくりの推進、地域づくりの推進。
- 2. 自然環境**
 - (1) 自然環境: 自然環境の保全、自然環境の保全、自然環境の保全。
 - (2) 自然環境: 自然環境の保全、自然環境の保全、自然環境の保全。
 - (3) 自然環境: 自然環境の保全、自然環境の保全、自然環境の保全。
 - (4) 自然環境: 自然環境の保全、自然環境の保全、自然環境の保全。
- 3. 交通**
 - (1) 交通: 交通の利便性の向上、交通の利便性の向上、交通の利便性の向上。
 - (2) 交通: 交通の利便性の向上、交通の利便性の向上、交通の利便性の向上。
 - (3) 交通: 交通の利便性の向上、交通の利便性の向上、交通の利便性の向上。
 - (4) 交通: 交通の利便性の向上、交通の利便性の向上、交通の利便性の向上。
- 4. 商業**
 - (1) 商業: 商業の活性化、商業の活性化、商業の活性化。
 - (2) 商業: 商業の活性化、商業の活性化、商業の活性化。
 - (3) 商業: 商業の活性化、商業の活性化、商業の活性化。
 - (4) 商業: 商業の活性化、商業の活性化、商業の活性化。
- 5. 防災・防犯**
 - (1) 防災・防犯: 防災・防犯の強化、防災・防犯の強化、防災・防犯の強化。
 - (2) 防災・防犯: 防災・防犯の強化、防災・防犯の強化、防災・防犯の強化。
 - (3) 防災・防犯: 防災・防犯の強化、防災・防犯の強化、防災・防犯の強化。
 - (4) 防災・防犯: 防災・防犯の強化、防災・防犯の強化、防災・防犯の強化。
- 6. 沿線地域の発展**
 - (1) 沿線地域の発展: 沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進。
 - (2) 沿線地域の発展: 沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進。
 - (3) 沿線地域の発展: 沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進。
 - (4) 沿線地域の発展: 沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進。

テーマの地区レベル（沼津駅周辺）についてのご意見

- 1. 商業**
 - (1) 商業: 商業の活性化、商業の活性化、商業の活性化。
 - (2) 商業: 商業の活性化、商業の活性化、商業の活性化。
 - (3) 商業: 商業の活性化、商業の活性化、商業の活性化。
 - (4) 商業: 商業の活性化、商業の活性化、商業の活性化。
- 2. 交通**
 - (1) 交通: 交通の利便性の向上、交通の利便性の向上、交通の利便性の向上。
 - (2) 交通: 交通の利便性の向上、交通の利便性の向上、交通の利便性の向上。
 - (3) 交通: 交通の利便性の向上、交通の利便性の向上、交通の利便性の向上。
 - (4) 交通: 交通の利便性の向上、交通の利便性の向上、交通の利便性の向上。
- 3. 防災・防犯**
 - (1) 防災・防犯: 防災・防犯の強化、防災・防犯の強化、防災・防犯の強化。
 - (2) 防災・防犯: 防災・防犯の強化、防災・防犯の強化、防災・防犯の強化。
 - (3) 防災・防犯: 防災・防犯の強化、防災・防犯の強化、防災・防犯の強化。
 - (4) 防災・防犯: 防災・防犯の強化、防災・防犯の強化、防災・防犯の強化。
- 4. 沿線地域の発展**
 - (1) 沿線地域の発展: 沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進。
 - (2) 沿線地域の発展: 沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進。
 - (3) 沿線地域の発展: 沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進。
 - (4) 沿線地域の発展: 沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進。

テーマのつづき

- 1. 沿線地域の発展**
 - (1) 沿線地域の発展: 沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進。
 - (2) 沿線地域の発展: 沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進。
 - (3) 沿線地域の発展: 沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進。
 - (4) 沿線地域の発展: 沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進。
- 2. 交通**
 - (1) 交通: 交通の利便性の向上、交通の利便性の向上、交通の利便性の向上。
 - (2) 交通: 交通の利便性の向上、交通の利便性の向上、交通の利便性の向上。
 - (3) 交通: 交通の利便性の向上、交通の利便性の向上、交通の利便性の向上。
 - (4) 交通: 交通の利便性の向上、交通の利便性の向上、交通の利便性の向上。
- 3. 防災・防犯**
 - (1) 防災・防犯: 防災・防犯の強化、防災・防犯の強化、防災・防犯の強化。
 - (2) 防災・防犯: 防災・防犯の強化、防災・防犯の強化、防災・防犯の強化。
 - (3) 防災・防犯: 防災・防犯の強化、防災・防犯の強化、防災・防犯の強化。
 - (4) 防災・防犯: 防災・防犯の強化、防災・防犯の強化、防災・防犯の強化。
- 4. 沿線地域の発展**
 - (1) 沿線地域の発展: 沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進。
 - (2) 沿線地域の発展: 沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進。
 - (3) 沿線地域の発展: 沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進。
 - (4) 沿線地域の発展: 沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進、沿線地域の発展の促進。

PIの進め方について

「意見募集」のアンケートでは、市民の皆様から、新設の「関心事項」に関するご意見を多く頂戴しております。ご意見をまとめた「意見まとめ中間報告冊子」を、市内に新聞折込しております。

沼津高架 PI プロジェクト

● 沼津 下410-0055 静岡県沼津市高島町1番3号
静岡県沼津土木事務所 都市計画課内 公共参与事務局

● FAX 055-926-5527
e-mail numasui@pi-pre.shizuoka.lg.jp
http://www.numasui-pre.shizuoka.lg.jp/

TEL 055-926-2222

沼津高架 Public Involvement Project PIプロジェクト

ステップ2 皆さんからの意見まとめ 中間報告

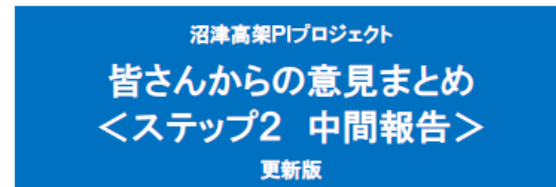
ステップ2に関して

これまで頂いた意見を項目にまとめました。

皆さんからの意見まとめ

〈ステップ2中間報告〉

更新版



～沼津高架について考える上で～

地域の将来像をどう考えますか？

さらに議論を深めていくために、この冊子を作成しました。

静岡県では、沼津駅付近鉄道高架事業について改めて方向付けをするため、沼津高架PIプロジェクトを立ち上げました。沼津高架PIプロジェクトでは、市民や関係者の皆さんの意見を広く聴き、オープンに議論しています。

現在は、平成24年4月に策定したP1実施計画（参考資料1）に基づきステップ2（目標の設定）を進めており、オープンハウスや車座談会等、様々な機会を設け、「現在の地域にはどんな課題があるのか」「どのような地域を目指すのか」などについて、皆さんの意見をお聴きしています。

この冊子は、ステップ2において、これまで（平成24年4月6日～12月15日）に皆さんから頂いた意見を中間報告として整理し、まとめたものです。

多くの皆さんにこの冊子をご覧いただき、引き続き議論を深めてまいりたいと考えています。

ぜひ、あなたのご意見もお聞かせください！



平成24年12月

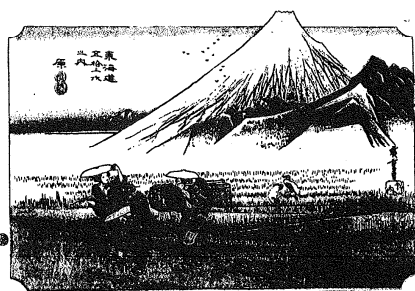
沼津高架PIプロジェクト・PI運営事務局

健康文化タウン構想について

健康文化タウン構想について

原西部地区(春新田・本松栲)

を「健康文化タウン」に!



《私たちの提案》

- ・ 医療や福祉のセンター
- ・ 若者が学ぶ働ける場所
- ・ 野菜や果物の地産地消市場食堂
- ・ 津波や地震などからの避難センター
- ・ 親子で楽しめる市民公園 など

詳しくは右の「構想」を閲覧下さい。

原貨物駅に土地を売らない地権者の会

(会長 殿岡利治)

郷土を愛する会(会長 西原正道)

※裏面に報道記事あり→

平成23年9月5日

(仮称)「ふじのくに健康文化タウン」基本構想
～原西部地区の地力を活かした町づくり～

原貨物駅に土地を売らない地権者の会(会長 殿岡利治)・郷土を愛する会(会長 西原正道)

大型公共施設、大型プロジェクトであっても、時代の要請、県民の要望に即応している限り必ずしも「ハコモノ」「税金の無駄使い」という批判を受けることはない。県立静岡がんセンターがその例である。現在、日本は加速度的に少子高齢化社会に移行しつつあり、高齢者への医療介護福祉政策が緊急の課題となっている。同時に、地方都市では雇用機会の創出、地域の活性化と振興、人口減少の歯止めが課題となっている。

原西部地区は、北に雄大な富士山、愛鷹山、浮島が原、南に千本松原と駿河湾、伊豆の山々、東に箱根連山、西に南アルプスを眺望出来る、空気が清澄で素晴らしい「ふじのくに」の理想郷である。また当地区は、かつて桃の花園であり、沼津御用邸の台所に野菜や果物を供給した農園であり、新鮮な農産物を提供できる地である。沼津市を「健康文化都市」として再生する可能性を秘めた地区である。

国道1号線、J東海道線の沿線に位置し、新東名高速道路、駿河湾環状道路とのアクセスが良好な場所である。現在、静岡県が推進している「ファルマバレー計画」の一環とし、県立静岡がんセンターを先行例とし、中高層の県立長寿医療センターを核とする健康文化ゾーンを形成することは、時代の要請に応じ、静岡東部全域、さらには首都圏の高齢者の需要に応じることができる。労働集約的な施設であることから雇用機会を創出し、各種医療福祉専門学校、医療関連産業により、若者が学び働く活気ある場所にもなる。

長寿医療センターは、老人医療や介護の他、多目的複合施設として、種々の機能を果たすことができる。老人医療福祉の研究機関、一般患者も受け入れるクリニック・モール、リハビリテーションやトレーニングジムとして、最上階は展望レストランプラザとして「ふじのくに」の海の幸・山の幸を提供し、屋上を展望公園として一般来訪者を受け入れる。展望公園の屋根をソーラーパネルとすることにより電気の自産自消のモデルとなる。そして、地震津波などの自然災害時には、中高層ビルであることから、地域住民の避難ステーションにもなり得る。

この長寿医療センターの周辺に、健康を増進する自然公園や市民農園、果樹園、スポーツ施設を配置することによって、施設利用者や地元住民のみならず、広く、来訪者、一般の県民市民がリフレッシュする憩いの場所となる。さらに、既存の浮島が原自然公園(富士市)やピオトープ、千本松原、興国寺城址、帯笑園、白隠の里、寺院などの地域資源と有機的に連携することが出来れば、さらに、多様で豊かな「健康文化ゾーン」としての機能を持つことになる。

以上のような目的で、原西部地区の地力を「ふじのくに健康文化タウン」として「ふじのくに理想郷」の創出に資するように活用していただくのであれば、地主としても納得でき、祖先に対しても申し訳が立ちます。-その場合、行政に積極的に協力させていただく所存です。

1. 鉄道高架事業
2. PIプロジェクト
3. 勉強会



1. 目的

- ・様々な意見をお持ちの方が一堂に会して、相互理解を深め、信頼を醸成し、互恵的解決策を探る。
- ・勉強会での議論を通じて以下について共有されることを期待する。

- ①地域の課題や将来像、地域づくりの目標(ステップ2)
- ②代替案と評価項目の設定(ステップ3、4)
- ③代替案の比較評価(ステップ5)

資料2 より

2. 開催と招集

- ・勉強会は、主催者である静岡県沼津高架PIプロジェクト・PI運営事務局が開催し、参加者を招集する。

資料2 より

3. 開催予定

- ・ステップ2～6を通じて、計7回程度。
- ・ステップ2においては、2回程度。
- ・ステップ4、5においては、テーマ③原地区と
テーマ②沼津駅周辺の2地区合同で開催することも検討する。

資料2 より

4. 会議の主体と役割

- ・PI運営事務局は、勉強会の主催者であり、鉄道高架事業に関する計画、検討等についての情報を提供する。
- ・参加者は、市民の立場から建設的な議論を行う。
- ・ファシリテーターは、中立的な第三者として勉強会の進行を支援し、参加者の意見を整理する。

資料2 より

5. 参加者の選定について

- ・鉄道高架事業や地域づくりへの関心を網羅できるように主な団体等に参加を依頼した。

資料2 より

6. 参加者の変更・代理について

- ・参加者が継続して出席することで、情報を共有、蓄積し、議論の継続性を担保するため、途中での変更はしないことを原則とする。
- ・やむを得ず欠席される場合は、登録された代理人に限って参加できるものとする。

資料2 より

7. 会議の公開(傍聴・報道)について

- ・傍聴席及び報道関係者席を設ける。
- ・個人の自由な発言を担保するため、主催者が運営の目的のために用いる以外は、会議の主要な部分の録音、撮影は出来ないものとする。
- ・勉強会の資料及び開催概要は、ホームページ等に公開する。

資料2 より

8. 会議の記録について

- ・PI運営事務局は、写真撮影、ビデオ撮影、録音をする。
- ・ホームページ等への掲載には、肖像権に配慮する。
- ・動画及び音声は作業用資料としてのみ使用する。
- ・ステップごとの勉強会の要旨を公表の対象とする。

資料2 より

9. 会議の運営について

- ・意見交換など、会議の一部の運営をファシリテーターに一任する。

資料2 より

10. 運営の評価

- ・勉強会の運営方法について、参加者の皆さんから運営に関する評価を頂き、必要に応じて改善に活かすものとする。

資料2 より

11. 結果の反映方法

- ・勉強会の議論の結果については、PIプロジェクトにおける他のコミュニケーションの方法による意見と合わせて、県が鉄道高架事業を含む一連の計画について最終的な判断を行うにあたっての判断材料とする。

資料2 より

駅周辺地区の勉強会を開催した後の改善事項など

- 勉強会のスケジュールについて
- 統計データ等の資料の要望について
- 参加者の持込み資料について

沼津高架 P I プロジェクト



ご静聴ありがとうございました。

